

学校コード F140310110874
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 大学院の設置
注1

認可

注2
福岡女学院看護大学大学院

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人福岡女学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	事務部 総務課
職名・氏名	課長 鶴 典子
電話番号	092-943-4174
(夜間)	092-940-2329
e-mail	kango_shisei@fukujo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学研究科

＜看護学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人福岡女学院

(2) 大学名

福岡女学院看護大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒811-3113
福岡県古賀市千鳥1丁目1番7号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カタノ ミツオ) 片野 光男 (令和3年6月)		
学長	(カタノ ミツオ) 片野 光男 (平成27年8月)		
研究科長	(カタノ ミツオ) 片野 光男 (令和5年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部、学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学研究科 看護学専攻 修士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	2年	3人	2年次 0人 3年次 -人 4年次 -人	6人	-	基礎となる学部 看護学部看護学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期															
A 入学定員	人 (-) [-]	1.33倍	1.33倍	1.33倍	1.33倍												
志願者数	(-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]												
受験者数	(-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]												
合格者数	(-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]												
B 入学者数	(-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]												
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.33	1.33	1.33	1.33	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	4人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通選択科目	看護倫理学特論	1・2前		2		2	3	1				
	健康支援論	1・2後		2		2	2		1			
	看護マネジメント論	1・2前		2		1	2					兼1
	小計(3科目)	-	0	6	0	5	6	1	1	0		兼1
専門基礎科目	ヒューマンケアリング看護論	1前	2			2	1					兼1
	看護シミュレーション教育学特論	1後	2			2		1				兼3
	看護教育学特論	1前	4			2	2	1				
	小計(3科目)	-	8	0	0	6	3	2	0	0		兼4
専門科目	看護シミュレーション教育学演習	2前	2			1		1				兼2
	看護教育学演習	1後	4			7	8	3	1			
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	8	3	1	0		兼2
看護研究科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	2			4	2					
	看護研究方法論Ⅱ	1後	2				5					
	特別研究	1～2通	8			9	8	3				
	小計(3科目)	-	12	0	0	9	8	3	0	0		-
合計(11科目)	-	26	6	0	9	8	5	1	0		兼5	
卒業要件及び履修方法												
共通選択科目から選択4単位以上、専門基礎科目から必修8単位、専門科目から必修6単位、看護研究科目から必修12単位の合計30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ただし、原則として20単位を年間履修登録の上限とする。												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通選択科目	看護倫理学特論(未開講 隔年開講のため)	1・2前		2		2	2	1				
	健康支援論	1・2後		2		2	0		1			
	看護マネジメント論(未開講 隔年開講のため)	1・2前		2		1	2					兼1
	小計(3科目)	-	0	6	0	5	4	1	1	0		兼1
専門基礎科目	ヒューマンケアリング看護論	1前	2			2	1					兼1
	看護シミュレーション教育学特論	1後	2			2		1				兼3
	看護教育学特論	1前	4			3	3	1				
	小計(3科目)	-	8	0	0	6	4	2	0	0		兼4
専門科目	看護シミュレーション教育学演習	2前	2			1		1				兼2
	看護教育学演習	1後	4			7	6	3	1			
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	6	3	1	0		兼2
看護研究科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	2			4	2					
	看護研究方法論Ⅱ	1後	2				4					
	特別研究	1～2通	8			9	6	3				
	小計(3科目)	-	12	0	0	9	6	3	0	0		-
合計(11科目)	-	26	6	0	9	6	5	1	0		兼5	
卒業要件及び履修方法												
共通選択科目から選択4単位以上、専門基礎科目から必修8単位、専門科目から必修6単位、看護研究科目から必修12単位の合計30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ただし、原則として20単位を年間履修登録の上限とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

附帯事項に係る専任教員補充、及び准教授2名の就任辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更する。

- ① 「看護倫理学特論」は、准教授を「3」から「2」に変更する。
- ② 「健康支援論」は、准教授を「2」から「0」に変更する。
- ③ 「看護教育学特論」は、教授を「2」から「3」に、准教授を「2」から「3」に変更する。
- ④ 「看護教育学演習」は、准教授を「8」から「6」に変更する。
- ⑤ 「看護研究方法論Ⅱ」は、准教授を「5」から「4」に変更する。
- ⑥ 「特別研究」は、准教授を「8」から「6」に変更する。

- (注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	3 科目	0 科目	11 科目	8 科目 [0]	3 科目 [0]	0 科目 [0]	11 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	看護倫理学特論	2	1・2前	一般	選択	隔年開講科目のため、令和6年度に開講する。
2	看護マネジメント論	2	1・2前	一般	選択	隔年開講科目のため、令和6年度に開講する。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「看護倫理学特論」「看護マネジメント論」は隔年開講科目のため、令和6年度に開講する。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、入学時オリエンテーションで説明を行った。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地 17,913.95㎡借用 ①17,371.74㎡ (借用期間 平成 19(2007)年4月1日～令 和39(2057)年3月31日) ②542.21㎡ (借用期間 令和元 (2019)年9月1日～令和 21(2039)年8月31日) 運動場用地には、体育 館(1,086.43㎡)を設置 している					
	校 舎 敷 地	4,076.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	4,076.71 ㎡						
	運 動 場 用 地	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡						
	小 計	4,076.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	4,076.71 ㎡						
	そ の 他	12,087.90 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	12,087.90 ㎡						
	合 計	16,164.61 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	16,164.61 ㎡						
(2) 校 舎	専 用	8,035.30 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,035.30 ㎡						
	(8,035.30 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(8,035.30 ㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	9 室	演 習 室	18 室	実験実習室	5 室	情報処理学習施設	1 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設	0 室 (補助職員 0 人)	大学全体 情報処理学習施設は、 語学学習施設を兼ねる
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			学長室及び学部長室は研 究室を兼ねる		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む 福岡女学院大学・短期 大学の共用分10,439 冊含む 大学全体での共用分の 図書・視聴覚資料及び 機械・器具に追加が あったため。 (5)			
	看護学研究科 看護学専攻	35,253 [3,641] (34,836 [3,575]) (34,740 [3,563])	953 [903] (953 [903])	903 [903] (903 [903])	870 (852) (-850)	5,673 (5,618) (-5,546)	0 (0)				
	計	35,253 [3,641] (34,836 [3,575]) (34,740 [3,563])	953 [903] (953 [903])	903 [903] (903 [903])	870 (852) (-850)	5,673 (5,618) (-5,546)	0 (0)				
	(6) 図 書 館	面 積	439.65 ㎡	閱 覧 座 席 数	116 席	収 納 可 能 冊 数	35,500 冊				
(7) 体 育 館	面 積	1,086.43 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要			なし			大学全体		
	(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費(教員1人当り、 共同)、図書購入費は 研究科単位での算出 不能なため、学部との 合計 図書購入費には電子 ジャーナル、データ ベース、その他の経費 を含む 設備購入費は、大学院 のみ 福岡女学院看護学卒業 生 第1年次納付金 1,000千円		
教員1人当り研究費等		208千円 410千円	410千円	図書購入費	3,692千円 7,052千円	7,600千円	7,600千円	図書購入費は、開 設前年度、大学全 体の図書購入費が 減額となったため、 減額となった。 (5)			
共同研究費等		700千円	700千円	設備購入費	1,670千円	584千円	0千円	教員1人当り研究費等 は、科学研究費の採 択額を考慮して記載 の金額となった。 図書購入費は、開 設前年度、大学全 体の図書購入費が 減額となったため、 減額となった。 (5)			
学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	1,200千円 900千円 - 千円 - 千円 - 千円 - 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は△C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	福岡女学院看護大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
看護学部	4	100	—	400	—	1.08	—	1.12	—	—	平成20	—						
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.08	—	1.12	—	—	平成20	福岡県古賀市千鳥1丁目1番7号						
大学全体	4	100	—	400	—	1.08	—	1.12	—	—	—	—						

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長、 研究科長)	片野 光男 <令和5年4月> 医学博士
		健康支援論 ※ 特別研究
専	教授 (副学長)	谷口 初美 <令和5年4月> PhD in Nursing (米国)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	穴井 めぐみ <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	新小田 春美 <令和5年4月> 博士(学術)
		看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	松尾 和枝 <令和5年4月> 博士(学術)
		健康支援論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	貞野 宏之 <令和5年4月> 理学博士
		ヒューマンケアリング看護論 ※ 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	八尋 陽子 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	星 美和子 <令和5年4月> PhD in Nursing (米国)
		看護マネジメント論 ※ ヒューマンケアリング看護論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長、 研究科長)	片野 光男 <令和5年4月> 医学博士
		健康支援論 ※ 特別研究
専	教授 (副学長)	谷口 初美 <令和5年4月> PhD in Nursing (米国)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	穴井 めぐみ <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	新小田 春美 <令和5年4月> 博士(学術)
		看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	松尾 和枝 <令和5年4月> 博士(学術)
		健康支援論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	教授	貞野 宏之 <令和5年4月> 理学博士
		ヒューマンケアリング看護論 ※ 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	八尋 陽子 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究
専	教授	星 美和子 <令和5年4月> PhD in Nursing (米国)
		看護マネジメント論 ※ ヒューマンケアリング看護論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論 I ※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤野 ユリ子 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	酒井 康江 <令和5年4月> 修士(人間環境学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	白井 ひろ子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護マネジメント論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	吉武 美佐子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		ヒューマンアソシエーション看護論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅰ ※ 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	豊福 佳代 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護マネジメント論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	仲道 由紀 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅰ ※ 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	山田 小織 <令和5年4月> 博士(保健学)
		健康支援論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	石井 慎一郎 <令和5年4月> 博士(医学)
		看護倫理学特論 ※ 健康支援論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	中村 加奈子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤野 ユリ子 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	酒井 康江 <令和5年4月> 修士(人間環境学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	白井 ひろ子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護マネジメント論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	准教授	吉武 美佐子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		ヒューマンアソシエーション看護論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅰ ※ 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	豊福 佳代 <令和5年4月> 博士(看護学)
		看護マネジメント論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	仲道 由紀 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅰ ※ 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究
専	准教授	
専	准教授	
専	准教授	中村 加奈子 <令和5年4月> 修士(看護学)
		看護教育学特論 ※ 看護教育学演習 看護研究方法論Ⅱ ※ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	吉川 由香里 ＜令和5年4月＞ 修士(ライブラリサイエンス)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	講師	藤川 真紀 ＜令和5年4月＞ 修士※(看護学)
		看護教育学特論 ※
専	講師	渡辺 まゆみ ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		看護教育学演習
専	講師	潮 みゆき ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 特別研究
専	講師	本武 敏弘 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		看護教育学演習 特別研究
専	助教	安田 みなみ ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		健康支援論 看護教育学演習
兼任	准教授	金田 俊郎 ＜令和5年4月＞ 神学修士
		ヒューマンケアリング看護論 ※
兼任	准教授	Mathew Lee Porter ＜令和5年4月＞ MA in TESL (米国)
		看護シミュレーション教育学特論 ※
兼任	講師	阿部 幸恵 ＜令和5年4月＞ 博士(児童学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	吉川 由香里 ＜令和5年4月＞ 修士(ライブラリサイエンス)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※ 看護教育学演習 特別研究
専	講師	藤川 真紀 ＜令和5年4月＞ 修士※(看護学)
		看護教育学特論 ※
専	講師	渡辺 まゆみ ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		看護教育学演習
専	講師	潮 みゆき ＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		看護倫理学特論 ※ 特別研究
専	講師	本武 敏弘 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		看護教育学演習 特別研究
専	助教	安田 みなみ ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		健康支援論 看護教育学演習
兼任	准教授	金田 俊郎 ＜令和5年4月＞ 神学修士
		ヒューマンケアリング看護論 ※
兼任	准教授	Mathew Lee Porter ＜令和5年4月＞ MA in TESL (米国)
		看護シミュレーション教育学特論 ※
兼任	講師	阿部 幸恵 ＜令和5年4月＞ 博士(児童学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	万代 康弘 <令和5年4月> 学士(医学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※
兼任	講師	福井 幸子 <令和5年4月> 人間科学修士
		看護マネジメント論 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	万代 康弘 <令和5年4月> 学士(医学)
		看護シミュレーション教育学特論 ※ 看護シミュレーション教育学演習 ※
兼任	講師	福井 幸子 <令和5年4月> 人間科学修士
		看護マネジメント論 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- 1) 設置認可時の附帯事項「専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。」を受け、「看護教育学特論」について、AC教員審査を受け、4名の教員が「可」の判定を受けたことにより、以下のとおり変更した。
- ・八尋陽子教授の担当授業科目「看護教育学特論」の担当回数を増加。「令和5年2月教員審査済」。担当回数増加のため、担当教員表に変更はない。
 - ・藤野ユリ子教授の担当授業科目に、「看護教育学特論」を追加。「令和5年2月教員審査済」。
 - ・白井ひろ子准教授の担当授業科目に、「看護教育学特論」を追加。「令和5年2月教員審査済」。
 - ・仲道由紀准教授の担当授業科目に、「看護教育学特論」を追加。「令和5年2月教員審査済」。
- 2) 山田小織准教授が就任辞退したことにより、担当を予定していた4科目については、以下のとおり変更する。
- ・後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。
 - ・「健康支援論」については、後任については、専任教員または兼任講師を充てる予定。
 - ・「看護教育学演習」については、公衆衛生看護学領域の松尾和枝教授との共同科目であるが、松尾和枝教授が単独で公衆衛生看護学領域を担当することとする。
なお、令和5年度は公衆衛生看護学領域を希望する大学院生は0名であった。
 - ・「看護研究方法論Ⅱ」については、後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。
 - ・「特別研究」については、後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。
なお、令和5年度は公衆衛生看護学領域の「特別研究」を希望する大学院生は0名であった。
- 3) 石井慎一郎准教授が就任辞退したことにより、担当を予定していた5科目については、以下のとおり変更する。
- ・後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。
 - ・「看護倫理学特論」については、後任未定であるが、隔年開講科目であり、令和5年度は開講せず、令和6年度前期に開講する。
 - ・「健康支援論」については、後任については、専任教員または兼任講師を充てる予定。
 - ・「看護教育学特論」については、オムニバス科目であり、全30回のうち2回を担当予定であった。後任未定であるが、以下のとおり計画している。
令和5年度前期の担当予定であった期間(6月～7月)は、兼任講師を充てる。
令和6年度前期は、後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。
 - ・「看護教育学演習」については、精神看護学領域の本武敏弘講師との共同科目であるが、本武敏弘講師が単独で精神看護学領域を担当することとした。
なお、令和5年度は精神看護学領域を希望する大学院生は0名であった。
 - ・「特別研究」については、後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。
なお、令和5年度は精神看護学領域を希望する大学院生は0名であった。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	8	5	1	23	0	9	6	5	1	21	0
(9)	(8)	(5)	(1)	(23)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
12	8	8	3		11	8	7	3			
(12)	(8)	(8)	(3)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	6	5	1	21	0	10	7	5	1	23	0
[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
11	8	7	3		12	9	8	3			
[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]								

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を準備済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 6 8 准教授・講師 6 6 助教・助手 6 2 歳	2	4
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{23} = \boxed{91.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{21} = \boxed{9.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								選択	健康支援論	③			
1	准教授	山田 小織	R5.3	必修	看護教育学演習	①	R5.3.31付け一身上の都合のため就任辞退（5）						
				必修	看護研究方法論Ⅱ	③							
				必修	特別研究	③							
				必修	特別研究	③							
2	准教授	石井 慎一郎	R4.11	選択	看護倫理学特論	③	R4.11.30付け一身上の都合のため就任辞退（5）						
				選択	健康支援論	③							
				必修	看護教育学特論	③							
				必修	看護教育学演習	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	6	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	7	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
								必修	0	科目	必修	0	科目
		該当なし											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
2	人	必修	6	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	4	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	7	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{23} = 8.69\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

1) 山田小織准教授が就任辞退したことに伴う大学の所見は以下のとおり。

- ・ 後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。
- ・ 「健康支援論」については、後任については、専任教員または兼任講師を充てる予定。
- ・ 「看護教育学演習」については、公衆衛生看護学領域の松尾和枝教授との共同科目であるが、松尾和枝教授が単独で公衆衛生看護学領域を担当することとする。なお、令和5年度は公衆衛生看護学領域を希望する大学院生は0名であった。
- ・ 「看護研究方法論Ⅱ」については、後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。
- ・ 「特別研究」については、後任の専任教授1名について、令和5年3月AC教員審査に申請中。なお、令和5年度は公衆衛生看護学領域の「特別研究」を希望する大学院生は0名であった。
- ・ 以上のことから、大学院生への影響はないと考える。

2) 石井慎一郎准教授が就任辞退したことに伴う大学の所見は以下のとおり。

- ・ 後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。
- ・ 「看護倫理学特論」については、後任未定であるが、隔年開講科目であり、令和5年度は開講せず、令和6年度前期に開講する。
- ・ 「健康支援論」については、後任については、専任教員または兼任講師を充てる予定。
- ・ 「看護教育学特論」については、オムニバス科目であり、全30回のうち2回を担当予定であった。後任未定であるが、以下のとおり計画している。令和5年度前期の担当予定であった期間(6月～7月)は、兼任講師を充てる。令和6年度前期は、後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。
- ・ 「看護教育学演習」については、精神看護学領域の本武敏弘講師との共同科目であるが、本武敏弘講師が単独で精神看護学領域を担当することとした。なお、令和5年度は精神看護学領域を希望する大学院生は0名であった。
- ・ 「特別研究」については、後任の専任准教授1名について、令和5年AC教員審査申請予定。なお、令和5年度は精神看護学領域を希望する大学院生は0名であった。
- ・ 以上のことから、大学院生への影響はないと考える。

「学生への周知方法」

学生に対しては、入学時オリエンテーションで説明を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>大学院設置の趣旨・目的を教員就任予定者が共通理解ができるように、説明会を開催した。開設前より、大学院委員会を定期的に開催し、研究科長が説明を行い理解を深めた。また、シミュレーション教育を中心とした看護教育学に関する教育研究活動水準の向上のため、論文投稿や学会発表を推進している。また、申請資格を有する全員に科学研究費申請を推進している。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>令和5年4月に開設し、毎月開催する大学院委員会と運営会議で、教育研究活動に関する課題を審議し、その改善を図る計画を審議している。今後は、大学院教育に係る研修会を実施し、教育研究水準を向上させる予定である。(5)</p>
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見1への対応において、「看護シミュレーション教育学特論」及び「看護シミュレーション教育学演習」の開講時期が変更され、教育課程の順序性には一定の配慮がなされたものの、「看護教育学特論」「看護教育学演習」の科目内容は方法論や実践論に重点が置かれており、看護教育の制度や教育者・指導者育成、人との関係、発達、心理学等といった看護教育学の基盤となる内容は少ないように見受けられる。本研究科の入学者は「看護専門分野の基礎知識」を有している者を前提としてはいるものの、看護師養成課程を修了した者が必ずしも看護教育学の基礎的な知見を有しているとは限らないことから、本研究科の教育課程において、看護教育学に関する基礎的な知識体系を取り扱う内容を充実させることが望ましい。</p>	<p>【認可】 助言事項</p> <p>1年前期に開講する「看護教育学特論」の1～8回目授業に以下の内容に追加した。看護教育制度の変遷と社会背景、看護教育者・指導者養成に求められる能力、看護職の生涯学習の必要性、人間の成長・発達と学習、認知と学習、記憶と学習等を追加し、看護教育学に関する基礎的な知識体系を修得できるよう設計した。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>「看護教育学特論」を1年前期に開講し、1～8回目の授業で看護教育学の基礎となる知識を教授した。今後の教育方法や実践論を教授する場合も、看護教育学の基礎知識と関連づけながら、カリキュラムポリシーや到達目標の達成に向けて授業を展開する予定である。(5)</p>
<p>認可時 (令和4年)</p>	<p>専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p> <p>専任補充を必要とされた「看護教育学特論」(1年前期科目)については、以下のとおり対応した。令和4年第4回のAC教員審査を受け、令和5年2月に、専任教員4名(教授2名、准教授2名)が「看護教育学特論」M可の判定を受け、専任教員を補充した。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>「看護教育学特論」(1年前期科目)については、令和5年2月にM可と判定された専任教員4名を補充して授業を行う。なお、「看護教育学特論」担当予定の准教授1名が辞任したため、当該教員の担当部分については、令和5年度前期は兼任教員が担当する。令和6年度の教員補充については、専任教員1名が令和5年AC教員審査を受審予定である。(5)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会（平成20年4月設置。令和5（2023）年度構成員：教員6名、事務職員1名（陪席）） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年度以降、FD委員会（学部長、教授1名、准教授・講師・助教の中から4名以内、事務部長が指名した者1名、その他委員長が必要と認めた者）を原則月1回開催し、原則委員全員が毎回出席している。令和4年度は、10回開催した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会の審議事項は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD推進のための企画及び実施に関する事項 ・ FDに関する報告書等の作成に関する事項 ・ その他FDの推進に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教職員のための研修会 ・ 授業方法についての研修会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 授業評価アンケート ・ 学生と教員との懇談会 ・ 事務職員修養会・全体研修 等 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会等主催の教職員の研修会は、教授会及びメールにて研修会等の案内を行う。開催方法は、対面・オンライン・オンデマンド視聴等。実施後に、アンケート調査を行う。 ・ 教員相互の授業参観を、前期及び後期に行う。授業参観可能な科目を募り、参観を希望する教職員は、授業担当者に申し込み参観する。各学期末に、授業参観に関するアンケート調査を行う。 ・ 前期に、TPチャートの作成を通してペアシェアリングを実施し、自身の教育内容を自己省察する機会を設けている。

- ・ 本学独自のFDマップを作成している。後期に、FDマップ診断チャートによる自己評価を行う。自己評価結果をもとに、FD委員会は、実施状況や効果を検討する。
 - ・ 授業改善のための学生による授業評価アンケートを行う。
 - ・ 毎年1回以上、学生と教員との懇談会を開催する。
 - ・ 毎年、事務職員修養会・全体研修を対面で開催する。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・ シミュレーション教育の基本と実際（新任教員100%参加）
 - ・ TPチャート研修会（対象教員100%参加）
 - ・ MOODLE相談会（希望に応じて相談を受け付けた）
 - ・ 相互授業参観（前期75%、後期40%の教員が参加）
 - ・ IR研修会（対象教員70%参加）
 - ・ アドバイザー会議” UNIPA面談管理システムの導入説明会（対象教員100%参加）
 - ・ 研究倫理eラーニングコース（eL CoRE）（対象教員100%参加）
 - ・ 看護大学教職員キリスト教研修会（対象教員100%参加）
 - ・ ハラスメント予防オンライン研修（対象教員100%参加）
 - ・ 事務職員SD研修 修養会・全体研修
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・ FDマップの結果を踏まえ、次年度の研修を企画する。
 - ・ 作成したTPチャートを学内で公開している。結果を受けて、教育・研究の向上に取り組んでいる。
 - ・ 授業評価結果を学内システムで閲覧可能とし、授業改善に役立てている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・ 前期と後期の全開講科目について、最終講義終了後に実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・ 授業評価アンケート集計結果を教員へフィードバックを行う。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 本研究科設置の趣旨・目的

本大学院看護学研究科は、「キリスト教精神およびヒューマンケアリングに基づき、シミュレーション教育を中心とした看護学教育が実践できる教育者・研究者を育成し社会に貢献すること」を目的としている。この目的に則り、「看護学における創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者の養成」および、「シミュレーション教育を中心とした看護学教育分野における研究マインドをもつ実践的な指導者や教育リーダーを養成することを目指している。

2. 達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて、開設初年度は4名の入学者を受け入れた。入学者は看護系大学教員、または将来看護系大学教員を目指す学生であり、今後のシミュレーション教育を中心とした看護教育の実践者・研究者となる人材養成に取り組んでいる。大学院教育の質の確保に向け、開設前には教職員を対象に本大学院の設置の趣旨・目的や学位授与方針（ディプロマポリシー）、教育課程方針（カリキュラムポリシー）、入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）、修士論文（特別研究）の指導の手引きを作成し、説明会を実施した。また、カリキュラムポリシーに基づく教育課程の運営に向け、授業科目及び研究指導を担当する教員を配置し、オムニバス方式の科目では担当者間で授業内容及び評価指標を共有している。

施設設備の整備計画については、大学院生用の研究室を設け、デスク、ロッカー、ミーティングテーブル、PCなどを整備した。さらに、図書34,836冊、学術雑誌953種（うち電子ジャーナル903種）等を整備し、大学院生の研究環境の整備を整えた。

管理運営については、大学院において一定の独立性の確保と、カリキュラム等での独自の運営が可能となるよう、「福岡女学院看護大学大学院委員会」を設置し、「福岡女学院看護大学大学院委員会規程」を制定した。また、「福岡女学院看護大学大学院履修規程」「福岡女学院看護大学大学院学位規程」等を本学の最高決定機関である運営会議で制定した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和7(2025)年5月 公表予定

b 公表方法

- ・ 各種委員会から提出された自己点検・評価報告書を「自己点検・評価委員会」で再度点検・評価し、各委員会との検討結果を報告書として作成する方法が整備されている。自己点検・評価結果については、点検・評価報告書に取りまとめ、本学ホームページに掲載することにより、広く学内外へ公表している。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 本学は、令和3(2021)年4月1日付で、認証評価機関である大学基準協会の「大学評価」による「適合」認定を受けている。認定の期間は令和10(2028)年3月31日までである。
- ・ 令和9(2027)年度に文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○福岡女学院看護大学FD委員会規程

2008（平20）年4月1日

制定

最終改正 2017（平29）年10月26日

（設立・目的）

第1条 福岡女学院看護大学教授会規程第7条に基づき、FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、教員の教育内容・方法の改善・向上を目指し、組織的に取り組むことを目的とする。

3 この規程は、委員会の組織運営について必要な事項を定めることを目的とする。

（審議事項）

第2条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) FD推進のための企画及び実施に関する事項
- (2) FDに関する報告書等の作成に関する事項
- (3) その他FDの推進に関する事項

（構成）

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長
- (2) 教授の中から 1名
- (3) 准教授・講師・助教の中から 4名以内
- (4) 事務部長が指名した者 1名
- (5) その他委員長が必要と認めた者

2 委員の他に必要に応じて委員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

（委員長・任期）

第4条 委員会に委員長を置き、委員長は教授の委員をもってあてる。

- 2 委員長は委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。
- 4 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

（招集）

第5条 委員会は定期的開催する。

- 2 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名する者がその職務を代行する。
- 4 委員会は、委員の過半数を持って成立し、審議事項の決定には、出席委員の過半数の賛成を必要とする。

(事務)

第6条 FD委員会の事務は、事務部長の委嘱したものが担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、運営会議の議を経て、学長が決定する。

附 則 1

この規程は、2008（平20）年4月1日から実施する。

附 則 2

この規程は、2016（平28）年4月1日から施行する。

附 則 3

この規程は、2017（平29）年10月26日から施行する。